

■ 前回の策定委員会でいただいたご意見等に対するお答え

参考資料1

NO	策定委員会	委員	分野	内容	検討結果等	担当課等	備考
1	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	石丸委員	農業	加温を必要としている品目に対し、重油・電気料の高騰が響き貴慮をしている農家が多い。 対策はないか。	重油等の高騰への対策として令和4年度に「施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費補助金」および「施設園芸液化石油ガス高騰緊急対策事業費補助金」が国事業として設置されています(資料2参照)が、現時点では補償対象期間は令和5年4月30日までとされており、今後についてはまだ未定となっています。今後の燃油価格等の変動や、それに対する国の対応も含め動向には注視していき、市としても対応していきたい。	農林水産課	
2	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	石丸委員	農業	資材の高騰等によりハウスの建設等に莫大な費用が掛かる傾向である。 このことが原因で就農を諦める方も出てきている現状をどう対応していくか。	資材高騰等に起因して就農を諦めようとしている方に対して、現状では、その方の不安を取り除くことができるほどの特定の補助事業はありません。しかしながら、新規就農者に対する支援策やハウス関連の補助事業等を組み合わせ効果的に活用していただけるよう、農業振興センターやJAをはじめとする関係機関で連携を図りながら相談に対応していますので、その取り組みの中で就農を前向きに考えてもらえればと考えます。	農林水産課	
3	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	福井委員	農業	みかんバターは継続してもらえるということなんですけど、 その筋道はできてるのか。	(株)山北みらいが果樹女性部加工班より事業承継され、(株)山北みらいの商品として加工、販売できるよう手続きは済まされています。 現時点で、加工場も一旦は確保されているようですが、今後も利便性等の観点からより加工に適している場所を探していくと聞いていますので、引き続き情報共有を行いながら今後の動向を注視していきます。	農林水産課	
4	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	福井委員	水産業	給食にシイラとかちりじゃこを出していますが、KPIが納入回数になっている。 両給食センターで作る給食の規模が大分違うはず。 ここは回数が実績でいいのでしょうか。 納入した量のほうが良いのではないのでしょうか。	回数及び納入した量を実績の数値としていきます。	農林水産課	

■ 前回の策定委員会でもいただいたご意見等に対するお答え

NO	策定委員会	委員	分野	内容	検討結果等	担当課等	備考
5	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	黒原委員	工業	民間の休有地があれば、ニーズがあればご紹介いただきたいということを話しております。	今現在、本市として誘致を行うためのまとまった土地はない。民間の所有する遊休地の利活用については、市内企業が所有する未利用の倉庫を紹介するなど工夫していくことになると思う。また、民間の空いてる用地をこれからも探していくような取り組みになるが、民間所有の土地は公には公表しにくいので、本市の方で把握しておき、ピンポイントで空いているところをご紹介していくような形にはなると思う。		
6	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	黒原委員 赤池委員長 三浦委員	全産業	<p>(工業分野) 工業分野で人材の確保の方が難しくなってきたという意見が出ております。従業員を確保しやすいための事業関係を何かしらしていただきたい。 外国人実習生の受入れが工業分野でも多くなってきた。 研修生の受け入れで問題なっているのが住宅環境を整えるということで、結構課題となってきましたので、何かそちらも支援があればお願いしたい。 これは工業分野もそうですが、他分野でも同じように実習生のことについて考えなきゃいけない時期に来てるんじゃないかなと思います。 若しくは、対応をされてるところもあるかもしれませんが、工業分野でも今、実際に確保には苦労しているという意見がありました。</p> <p>(赤池委員長) これをすぐにということではないと思いますが、会社の産業を支えていくときに、この2部会ということなのか、1つのテーマという形なのか、これについては事務局の方で、今後この産業振興計画の中にどういった形で入れていくのかご検討いただきたいと思います。</p> <p>(三浦委員) 外国人労働者の関係なんですけども、工業だけではなくて農業分野でもすでに入られて、おいでになると思います。 直ちにこの計画の中身をどうだということではなくて、今後一つの産業を支える担い手として、非常に難しいかと思いますが、そういったところも頭の中に入れて、今後どうしていくのかということもご検討いただければという意見ということで受けとめてもらえればと思います。</p>	工業部会の中でも人材の確保等についての課題は意見としてある。香南市でも外国人技能実習生等の受入れをしている事業者もある。現在市内の立地企業に対して技能実習生等の雇用状況や課題等について調査をしている段階。ヒアリングした課題等から今後の支援策について検討していく。また、市内企業の合同交流会等の場面で、研修等を行い、技能実習生等のメリットや雇用の流れ等についても勉強会などができればと考えている。	農林水産課 商工観光課 企画財政課	

■ 前回の策定委員会でもいただいたご意見等に対するお答え

参考資料1

NO	策定委員会	委員	分野	内容	検討結果等	担当課等	備考
7	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	赤池委員長	全産業	(赤池委員長) 商業分野からは『デジタル化の話』が出ています。これをすぐにということではないと思いますが、会社の産業を支えていくときに、この2部会でということなのか、1つのテーマという形なのか、これについては事務局の方で、今後この産業振興計画の中にどういった形で入れていくのかご検討いただきたいと思います。	デジタル化の推進に関しては、今年度より情報政策課が創設され、具体的な計画等も策定予定となっている。その経過の中で、当計画との連携等についても検討していきたいと考えている。	商工観光課 情報政策課	
8	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	國常委員	商業	空き店舗情報の更新についてどう対応しているか。	現在は定期的な更新ができていない状況。今後は、事務系企業誘致にかかるものとして保有している空き店舗情報(不動産業者の情報を集約したもの)や、空き店舗調査結果による情報をとりまとめたものを、HP等で発信するとともに、不動産業者とも連携しながら、四半期に1回程度の更新を目指していくような取組も行っていきたいと考えている。	商工観光課	
9	R4年度 第2回 策定委員会 (R5.1.30)	小笠原委員	工業 観光	ものづくり教育推進事業について継続的に行っていただきたい。 また、観光の要素を交え事業を行うなどの検討はできるか。 (商工観光課長の答弁) 次のステップといいますか、工業部会等の方でもお話を等して、そういった教育等も含めて、一般向けも含めたツアー、どちらかというと、そういったこと等も可能性としてはあるのかなと個人的には思いますので、企業様側の意見交換をさせていただきながら協議をしていければと思っております。	令和5年度についても当事業については開催を予定している。目的として市内のこども達に市内立地企業を知っていただくことが前提にあるので、令和4年度課題としてでた、時間や対象年齢の部分、体験学習を入れるかという部分を令和5年度は検討していく。また、観光分野との連携については、今後工業部会等の中でも話を等して、一般向けも含めたツアーについても企業側と意見交換をさせていただきながら協議をしていく。	商工観光課	